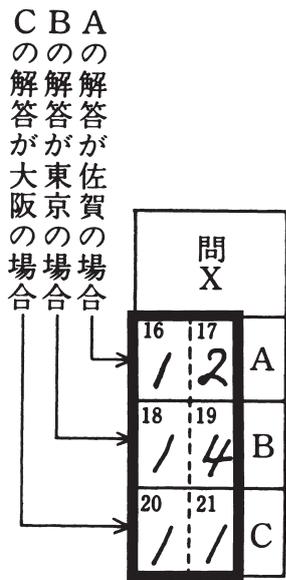


注意事項

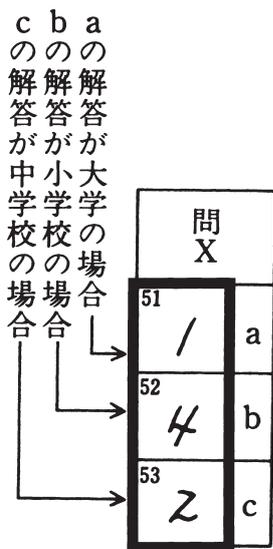
- (一) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
- (二) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (三) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし、解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (四) 解答用紙左下に印刷してある受験学部・学科コード、受験番号、氏名(カタカナ)を確認し、氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし、印刷に間違いがあった場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例(選択式の場合)〕

例一:〔語群〕が二桁で 11 大阪 12 佐賀 13 長崎 14 東京 とある場合



例二:〔語群〕が一桁で 1 大学 2 中学校 3 高校 4 小学校 とある場合



〔一〕

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

——陣内正敬「若者世代の方言使用」による——

*プレモダン……この文章では、江戸時代までの言語状況をプレモダン期、明治～昭和終盤をモダン期、昭和終盤以降をポストモダン期と位置づけている。

**集団語……ある集団に特徴的な言葉。専門用語や隠語などが使われるため部外者にはわかりにくい。

問一 傍線部 a「第二言語」と対義的な関係にある言葉を次の選択肢の中から一つ選び、その番号を記せ。

- 1 方言
- 2 共通語
- 3 母語
- 4 若者語
- 5 優位言語

問二 傍線部 b「この状況」とはどういうことか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 劣位言語の話者だけがモノリンガルからバイリンガルになってしまう状況。
- 2 バイリンガルとして育つと必然的に社会的階層が低くなってしまいうような差別が存在する状況。
- 3 モノリンガルから脱却し、劣位言語も使えるバイリンガルになることで社会階層を上げることができるような状況。
- 4 社会的な成功を収めたことがきっかけで自然にバイリンガルになっていくような状況。
- 5 社会的に成功するのは優位言語のモノリンガルに限られているような状況。

問三 空白部 Aにはどのような言葉が入るか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 自分の出身地の方言に誇りを持っていないこと
- 2 地方出身でありながら固有の方言をもっていないこと
- 3 方共バイリンガルとして育ってしまったこと
- 4 方言しか使えないモノリンガルであること
- 5 地方出身であることを恥ずかしく思っていること

問四 傍線部c「日本人の言語意識上の大転換」とはどういうことか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 共通語モノリンガルを育成する時代から、方共バイリンガルが育成される時代になったこと。
- 2 方言を人前で使うことが恥ずかしかった時代から、人前でも堂々と使える時代になったこと。
- 3 方言モノリンガルの多い時代から、共通語モノリンガルがほとんどの時代になったこと。
- 4 共通語モノリンガルを目指す時代から、方言モノリンガルに回帰する時代になったこと。
- 5 方言以外に選択肢がない時代から、場合に応じて方言も使う時代になったこと。

問五 空白部Bにはどのような言葉が入るか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 情的な部分は容易に伝えられない
- 2 そう簡単に取り替えることはできない
- 3 相手との連帯感を強めるためにある
- 4 若者語、流行語、俗語よりは価値がある
- 5 使いすぎて飽き飽きしてしまう

問六 本文の内容に合致しているものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を記せ。

- 1 現在では方言モノリンガルは少なくなっているが、方言の利用価値は高まっている。
- 2 共通語モノリンガルの話者は、今では、方言を使えないことで社会的成功を得られなくなってきた。
- 3 方共バイリンガルにとっても共通語モノリンガルにとっても、自分のアイデンティティと方言との関わり方は共通している。
- 4 方言は「正しくないもの」から「使うにふさわしい場面もあるもの」になってきたが、方言の使い捨てのような用い方は問題である。
- 5 マスメディアは共通語を全国に広げる役割を果たしてきただけでなく、方言使用のコンプレックスを助長してきた歴史もある。

問七 傍線部イ～ハの「ソ」「キュウ」「モウ」と同じ漢字を用いているものを、次の選択肢の中からそれぞれ選び、その番号を記せ。

- | イ | 口 | ハ |
|-------------------------------|--|----------------------------|
| 1 友達の輪の中にもソガイされたような気持ちになる。 | 1 時代の変化によってフキュウの名作と呼ばれた作品も見られなくなった。 | 1 この靴は走り込みすぎてマモウが激しい。 |
| 2 その日のうちに救援物資を送るという異例のソチを取った。 | 2 在宅介護で酸素キュウニユウ中には火気に注意してください。 | 2 戦士は最後までユウモウに戦った。 |
| 3 反対派の強行突破をソシしようとしたが無駄だった。 | 3 悪天候で試合ができなくなったチームには思わぬキュウソクのひと時となった。 | 3 主役の最後の姿がモウマクに焼き付いている。 |
| 4 相談窓口にくら頼んでも仕方がないので市長にジキソした。 | 4 急いで対策を行ってなんとか期末試験はキュウダイできた。 | 4 彼らが仲良く手を取り合う姿をモウソウしてしまう。 |
| 5 首相に選ばれると直ちにソカクに着手した。 | 5 この事件に対し、検察側は容疑者に罰金百五十万円をキュウケイした。 | 5 後進に道を譲るつもりはモウトウない。 |

〔二〕

次の文章は、後朝きぬぎぬの別れ方を評した部分である。これを読んで後の設問に答えよ。

あかつきに帰らむ人は、装束などいみじううるはしう、烏帽子の緒、元結、かためずともありなむとこそおほゆれ。いみじくしどけなく、かたくなしく、直衣、狩衣などゆがめたりとも、誰か見知りてわらひそしりもせむ。

人はなほあかつきのありさまこそ、をかしうもあるべけれ。わりなくしぶしぶに起きがたげなるを、しひてそそのかし、「明けすぎぬ。あな、見ぐるし」などいはれて、うちなげくけしきも、げにあかず物憂dくもあらむかしと見ゆ。指貫なども、ゐながら着もやらず、まづさしよりて、夜いひつることの名残、女の耳にいひ入れて、なにわざすともなきやうなれど、帯など結ふやうなり。格子おしあげ、妻戸ある所は、やがてもろともに率あていきて、昼のほどのおぼeつかなからむことなども、いひ出でにすべり出でなむは、見おfくられて名残もをかしかりなむ。

——「枕草子」——

問一 傍線部 a 「しどけなく」・d 「物憂くもあらむかし」の意味として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

	a			
5	4	3	2	1
だらしなく	やる気なく	しかたなく	たよりなく	申し訳なく

	d			
5	4	3	2	1
楽しみでもあるだろう	面白くも感じるだろう	気も進まないだろう	寂しげでもあるだろう	けだるくもあるだろう

問二 傍線部 b 「誰か見知りてわらひそしりもせむ」の解釈として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 誰が彼のことを見知って笑い、悪口まで言ったのか。
- 2 誰がそういう姿を見つけて笑ったり悪口を言ったりするだろうか。
- 3 その人の知り合いなら笑ったりひどいことを言ったりはしないだろう。
- 4 誰かそのことを知って笑ったり悪口を言ったりした人を知らないか。
- 5 誰かがそういうことを見とがめて笑ったことを知っているはずだ。

問三 傍線部 c 「しひてそそのかし」とはどういうことか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 男が早く起きろと言われても知らないふりをする事
- 2 男が女に嘘をついて早く帰ろうとする事
- 3 女が男を早く帰らせようと無理に催促すること
- 4 従者が男に早く起きてくれと無理をしてせきたてること
- 5 女がしぶしぶ帰ろうとする男に声をかけて帰らせないこと

問四 傍線部 e 「おぼつかかなからむこと」とはどういうことか。最も適当なものを次の選択肢の中から選び、その番号を記せ。

- 1 またここに来ることができるかどうか気がかりなこと
- 2 眠そうで足元がふらふらしていること
- 3 あまりよく覚えていないので不思議なこと
- 4 別々にいなければならないのが不安なこと
- 5 人目につかず帰れるかどうか心配なこと

問五 傍線部 f 「れ」の文法的意味として適当なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を記せ。

- 1 完了
- 2 可能
- 3 尊敬
- 4 受身
- 5 自発

問六 後朝の別れ方に対する作者の価値観が端的に述べられている箇所を次の選択肢の中から一つ選び、その番号を記せ。

- 1 烏帽子の緒、元結、かためずともありなむ
- 2 あかつきのありさまこそ、をかしようもあるべけれ
- 3 「明けすぎぬ。あな、見ぐるし」などいはれて、うちなげく
- 4 夜いひつることの名残、女の耳にいひ入れて
- 5 格子おしあげ、妻戸ある所は、やがてもろともに率ていき

問七 「枕草子」より前に成立した文学作品を次の選択肢の中から一つ選び、その番号を記せ。

- 1 方丈記
- 2 更級日記
- 3 古今和歌集
- 4 大鏡
- 5 山家集